

島根県商工会地域 第 182 回中小企業景況調査報告書（簡易版）

（令和 7 年 10 月～12 月期実績 令和 8 年 1 月～3 月期見通し）

令和 8 年 1 月

島根県商工会連合会

■調査対象：企業数 150（出雲隠岐地区 90 石見地区 60）

《小売業：45 サービス業：55 製造業：29 建設業：21》

■業種別業況天気図

天気図のよみ方

業 種	令和 6 年	令和 7 年	令和 7 年	令和 7 年	令和 7 年	見通し
	10-12 月	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月	1-3 月
小売業						
サービス業						
製造業						
建設業						

	表示	DI
特に好転		50.1～100
好転		25.1～50.0
やや好転		0.1～25.0
やや悪化		0.0～△25.0
悪化		△25.1～△50.0
特に悪化		△50.1～△100.0

■経営上の問題点

業 種	1 位	2 位	3 位
小売業	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
サービス業	材料等仕入単価の上昇	人件費以外の経費の増加	店舗施設の狭隘・老朽化
製造業	原材料価格の上昇	人件費の増加	原材料費・人件費以外の経費の増加
建設業	材料価格の上昇	従業員の確保難	熟練技術者の確保難

【業種全体の概要】全体の業況は横這いとなった。来期は小幅な悪化の見通し。

業 種	業 況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
	前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
全業種	好転①	15.3	増加①	24.7	好転①	16.1	好転①	9.4
	不変	52.0	不変	42.7	不変	53.7	不変	68.5
	悪化②	32.7	減少②	32.7	悪化②	30.2	悪化②	22.1
	DI①-②	▲17.4	DI①-②	▲8.0	DI①-②	▲14.1	DI①-②	▲12.7

●数値は企業の回答割合（％）

●DI とは景気を判断する指数であり、各調査項目についての「①好転（増加）」と答えた企業割合と「②悪化（減少）」と答えた企業割合の差（ポイント）を示すものである。

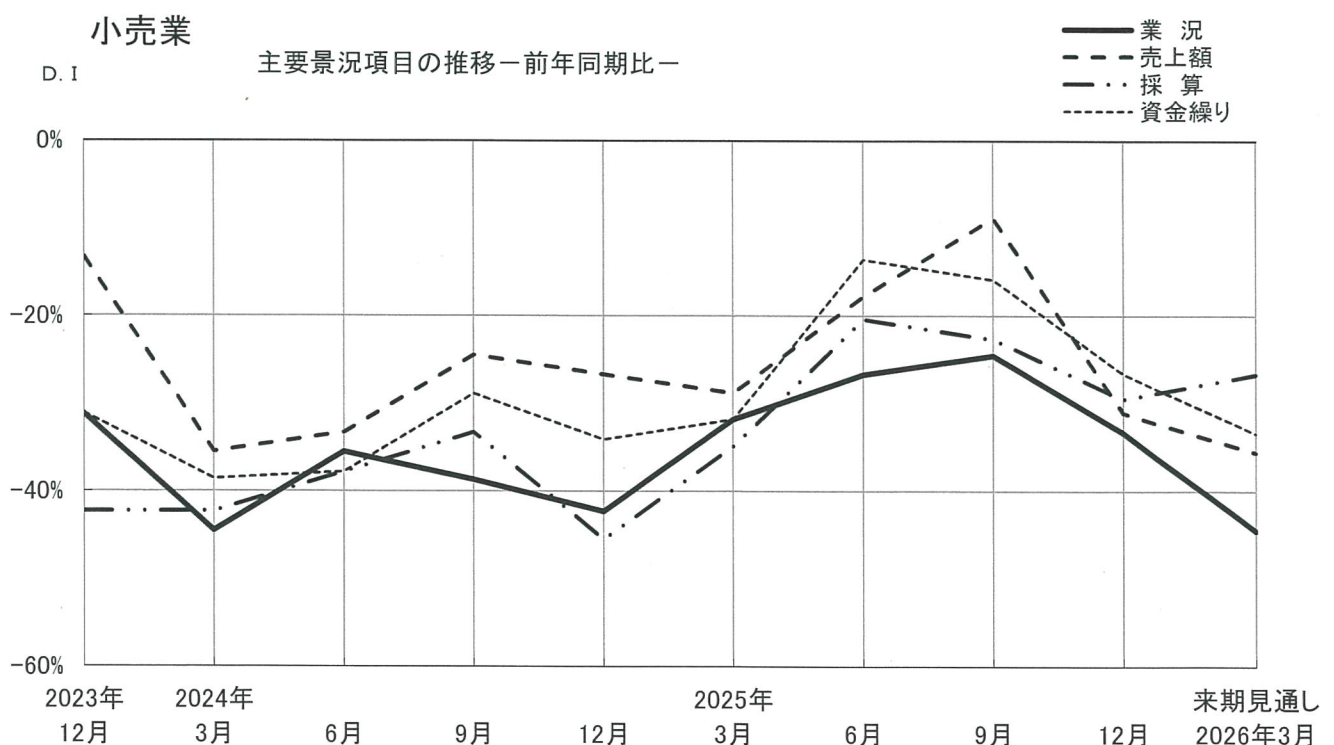
●各数値の表記は、小数点以下第 2 位を四捨五入処理したものである。

- ★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が 15.3%。「悪化」したと回答した企業が 32.7%。
DI（景気判断指数）が▲17.4 で前期調査（7-9 月）より 1.9 ポイント上昇。業況は横這いとなった。
来期（1-3 月）は▲23.5 ポイントで 6.1 ポイント低下し、小幅な悪化の見通しである。
- ★売上額が前年同期比で「増加」したと回答した企業が 24.7%。「減少」したとの回答が 32.7%。
DI（景気判断指数）が▲8.0 で前期調査と同ポイント。売上額は横這いとなった。
来期は▲16.2 ポイントで 8.2 ポイント低下し、悪化の見通し。
- ★採算が前年同期比で「好転」したと回答した企業が 16.1%。「悪化」したと回答した企業が 30.2%。
DI（景気判断指数）が▲14.1 で前期調査より 12.8 ポイント上昇。採算は好転となった。
来期は▲18.1 ポイントで 4.0 ポイント低下し、小幅な悪化の見通し。
- ★資金繰りが前年同期比で「好転」したと回答した企業が 9.4%。「悪化」したと回答した企業が 22.1%。
DI（景気判断指数）が▲12.7 で前期調査より 3.5 ポイント上昇。資金繰りは小幅な好転となった。
来期は▲21.8 ポイントで 9.1 ポイント低下し、悪化の見通し。

【小売業】 業況は悪化となった。来期も悪化の見通し。

業 況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	11.1	増加①	20.0	好転①	9.1	好転①	6.7
不変	44.5	不変	28.9	不変	52.3	不変	60.0
悪化②	44.4	減少②	51.1	悪化②	38.6	悪化②	33.3
DI①-②	▲33.3	DI①-②	▲31.1	DI①-②	▲29.5	DI①-②	▲26.6

- ★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が 11.1%。「悪化」したと回答した企業が 44.4%。
DI（景気判断指数）は▲33.3 で前期（7-9 月）調査より 8.8 ポイント低下。業況は悪化となった。来期は▲44.5 で 11.2 ポイント低下し、悪化の見通しである。※項目推移グラフ※業況天気図
- ★その他では、売上額の DI は▲31.1 で前期調査より 22.2 ポイント低下。採算は▲29.5 で前期調査より 6.8 ポイント低下。資金繰りは▲26.6 で前期調査より 10.7 ポイント低下。※項目推移グラフ



【サービス業】 業況は横這いとなった。来期は小幅な好転の見通し。

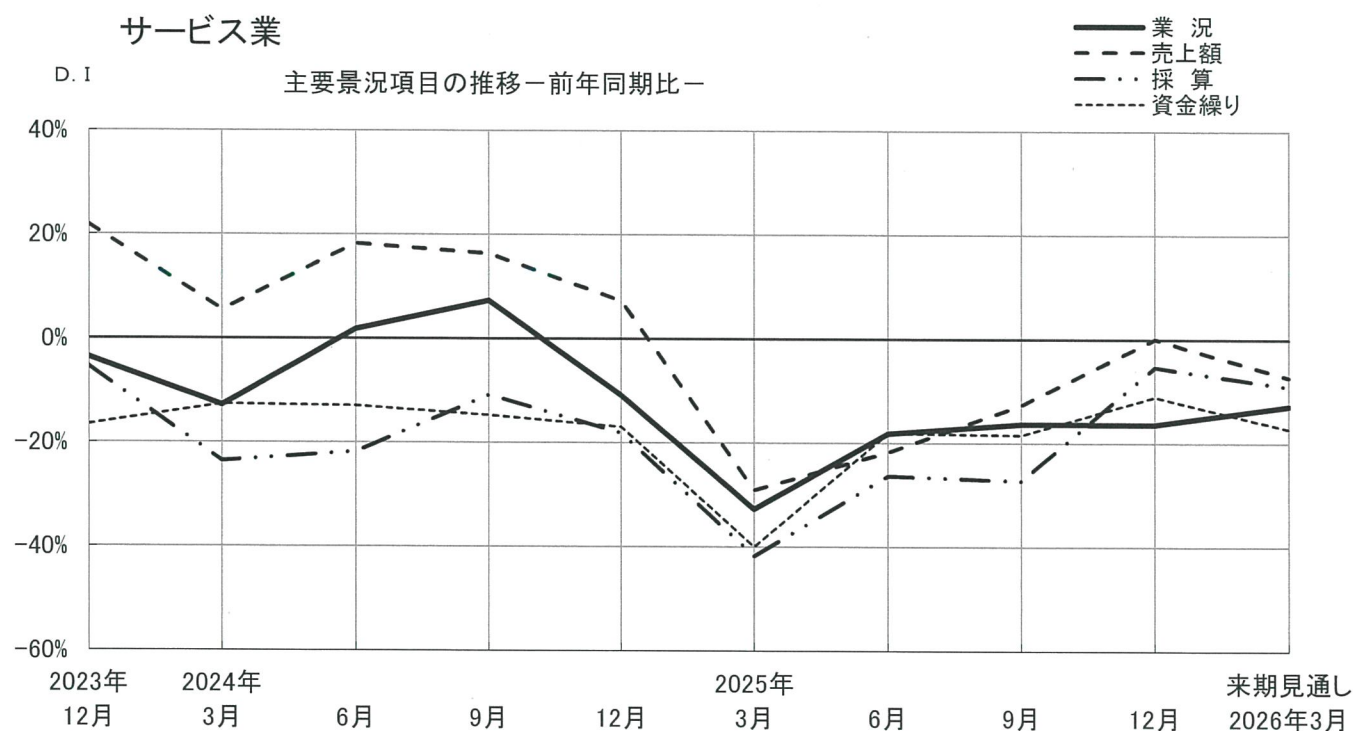
業 況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	12.7	増加①	27.3	好転①	18.2	好転①	5.6
不変	58.2	不変	45.4	不変	58.2	不変	77.7
悪化②	29.1	減少②	27.3	悪化②	23.6	悪化②	16.7
DI①-②	▲16.4	DI①-②	0.0	DI①-②	▲5.4	DI①-②	▲11.1

★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が12.7%。「悪化」したと回答した企業が29.1%。

DI（景気判断指数）は▲16.4で前期（7-9月）調査より0.1ポイント低下。業況は横這いとなった。

来期は▲12.9で3.5ポイント上昇し、小幅な好転の見通しである。※項目推移グラフ ※業況天気図

★その他では、売上額のDIは0.0で前期調査より12.7ポイント上昇。採算は▲5.4で前期調査より3.8ポイント低下。資金繰りは▲11.1で前期調査より6.2ポイント低下。※項目推移グラフ



【製造業】 業況は好転となった。来期は悪化の見通し。

業 況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	24.1	増加①	34.5	好転①	17.2	好転①	17.2
不変	51.8	不変	48.3	不変	51.8	不変	58.7
悪化②	24.1	減少②	17.2	悪化②	31.0	悪化②	24.1
DI①-②	0.0	DI①-②	17.3	DI①-②	▲13.8	DI①-②	▲6.9

★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が24.1%。「悪化」したと回答した企業が24.1%。

DI（景気判断指数）は0.0で前期（7-9月）調査より13.8ポイント上昇。業況は好転となった。来期

は▲13.8で13.8ポイント低下し、悪化の見通しである。※項目推移グラフ ※業況天気図

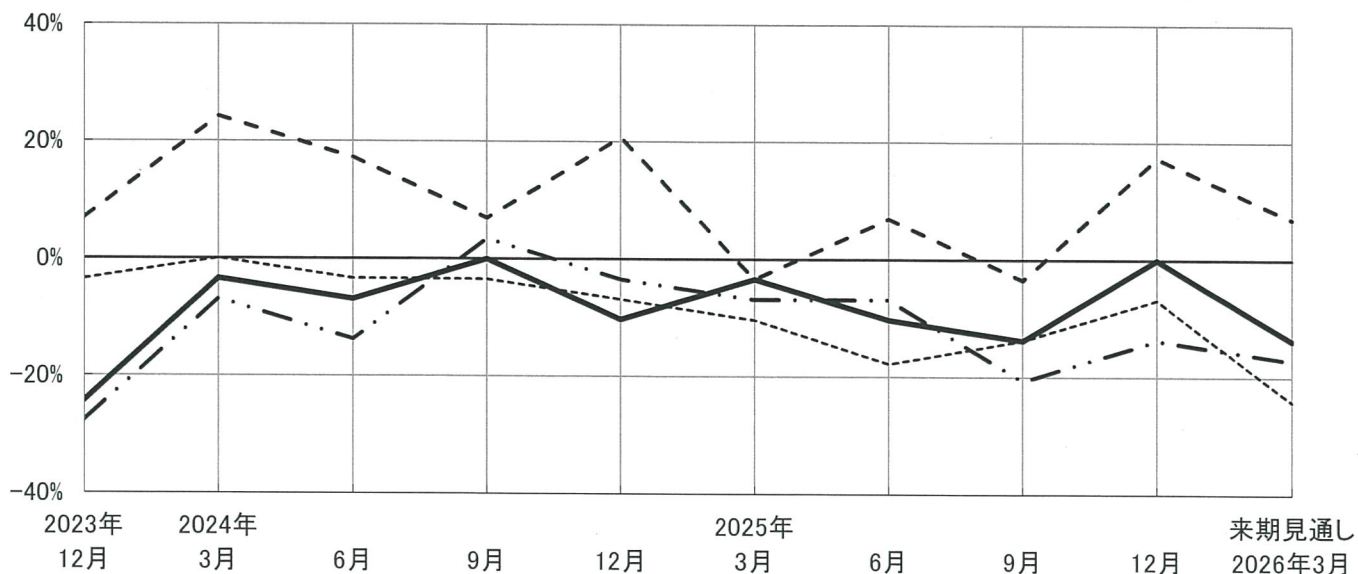
★その他では、売上額のDIは17.3で前期調査より20.8ポイント上昇。採算は▲13.8で前期調査より6.9ポイント上昇。資金繰りは▲6.9で前期調査より6.9ポイント上昇。※項目推移グラフ

製造業

D. I

主要景況項目の推移—前年同期比—

業況
売上額
採算
資金繰り



【建設業】 業況は好転となった。来期は悪化の見通し。

業況		完成工事額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	19.0	増加①	14.3	好転①	23.8	好転①	14.3
不変	52.4	不変	57.1	不変	47.6	不変	76.2
悪化②	28.6	減少②	28.6	悪化②	28.6	悪化②	9.5
DI①-②	▲9.6	DI①-②	▲14.3	DI①-②	▲4.8	DI①-②	4.8

★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が19.0%。「悪化」したと回答した企業が28.6%。

DI（景気判断指数）は▲9.6で前期（7-9月）調査より14.2ポイント上昇。業況は好転となった。

来期は▲19.0で9.4ポイント低下し、悪化の見通しである。※項目推移グラフ ※業況天気図

★その他では、完成工事額のDIは▲14.3で前期調査より14.3ポイント低下。採算は▲4.8で前期調査より38.1ポイント上昇。資金繰りは4.8で前期調査より19.0ポイント上昇。※項目推移グラフ

建設業

D. I

主要景況項目の推移—前年同期比—

業況
完成工事額
採算
資金繰り

